



ひよこ組通信

ひよこ再スタート秋号
令和3年10月27日
港区立青南幼稚園



長い緊急事態宣言発令期間が終了し、10月6日にひよこ組が再スタートしました。再開を楽しみに待っていてくれた皆さんが足取りも軽やかに来園されました。

トンボ作り (10月6日)



塗り絵で描いたトンボに、ひもと紙のくるくる棒を付けました。棒を持って腕を振るとトンボがフワフワと揺れる様子がうれしくて、何度も見せてくれました。腕を大きく振るとトンボがヒラヒラと飛んでいるように見えて歓声を上げたり、2つ作って両手に持って揺らしたり、腕を上げたまま走ったり、それぞれに作った物を手に楽しんでいました。最後にみんなで「トンボのめがね」を歌うと、お家の方に預けていたトンボをすぐに持って来て、みんなで一緒に揺らしながら歌っていました。



スタンプ遊び (10月27日)



きのこの絵に様々な色でスタンプを押して遊びました。いろいろな色の組み合わせを楽しむ様子や、一色のスタンプを一面に押し楽しむ様子、また自分のひよこバックを持って来てそこにスタンプするなど思い思いの楽しみ方をしていました。でき上がるとひよこバックに大事そうにしまっていました。



身近な物を使ってお家でもスタンプ遊びをしてみませんか。

《たんぽの作り方》

化繊綿やウレタンなどを硬く丸めて布やガーゼなどで包み、ワインのコルクや乳酸飲料の容器などの先端に輪ゴムで止めます。ピーマン、ゴボウ、ネギ、オクラなど野菜の切りくずをスタンプにするのも楽しいですよ。



おもいきりジャンプ!

遊びが一段落した頃、ジャンプができる台を設定しました。初めは恐る恐る飛び降りていた子も繰り返すうちに、思い切り飛び降りて手を付かずに着地できるようになりました。



好きな遊びのコーナーでホットな出来事

自動車や車はいつも人気です。たまたま同じ車に二人の手が伸びて一人がサッと取ったのですが、相手の子の視線をじっと見て考えた後、そっとその子に差し出して渡してあげていました。大人が慌てて仲介しなくても自分で考えて相手の気持ちを察したのですね。うれしい瞬間でした。

コミュニケーションの場

うさぎ組は、子どもの遊びを介して保護者の方同士が情報交換をしたり、子育てについて話をしたりする場にもなっています。うさぎ組委員の先輩ママたちも、さり気なく話題を引き出してくださったり熱心に耳を傾けてくださったりしています。



トイレトレーニング

保護者の方との会話の中でトイレトレーニングについてのご相談がありました。3歳を迎える頃になると、そろそろトイレでできるようになると良いな・・・と思われることでしょうか。でも放っておいてもひとりでオムツが外れるわけではありません。オムツが濡れる間隔が開くようになり、まとまった量のおしっこが出るようになりだしたらそろそろ外し時です。オムツが濡れる頃合いを見計らってトイレに座らせてみましょう。初めは慣れないので、なかなかタイミングよく出ないかもしれません。トイレから出た途端に漏らしてしまうこともあります。そんな時には叱らずに、「次はうまくできると良いね」とトイレですることが嫌にならないように明るい言葉をかけてあげてください。うまくおしっこが出たらいっぱい褒めてあげましょう。何回か繰り返すうちに、トイレですることが習慣になっていきます。

やったー！できたね！

今日は大成功!!



もうすぐおにいさん（おねえさん）パンツだね！

入園に向けて不安に思っていることや子育てで気になっていることなどがありましたら、お気軽にお声掛けください。

☆お知らせ☆

球根栽培 11月17日(水)

秋植え球根栽培の時期になりました。青南幼稚園では子どもたちが来春の開花を楽しみにしながら、それぞれの学年でいろいろな栽培活動をしています。今年度はひよこ組でも親子でチューリップの球根栽培をしたいと考えています。幼稚園の前を通るときに、親子でチューリップの生長を楽しみに見守っていただけたらと思います。



ミニミニコンサート 11月24日(水)

プロのヴァイオリニストをされている在園児の保護者の方のご厚意で、ヴァイオリンの生演奏を聴かせていただくことになりました。本物に触れる貴重な機会です。どうぞお楽しみに。

ひよこ組の時間内で開催いたしますので、通常のひよこ組の申し込み日にお申し込みください。

